

移住風景

—八頭町地域おこし協力隊活動の現場から—

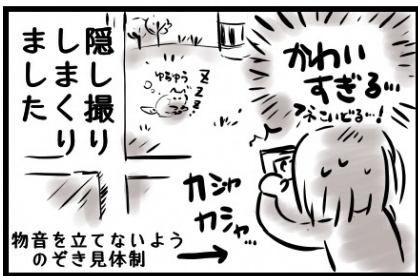
りんご剪定勉強会

3月中旬、りんご観光園で剪定の勉強会を開催しました。

主に八東のりんご生産者や、これから生産に挑戦してみたい方などで賑わい、老木と若木それぞれの残す枝や切る枝の要点の指導、実際に圃場の木を使った実習など、とても有意義な時間を共有できました。

八東は県内でも有数のりんごの生産地です。そして、フルーツの里としての八東の歴史を調べるにつれ、りんごは切っても切れない、まだまだ無くしたくない存在だと感じています。

協力隊3年目はりんごの「虜」になった一年でした。



〔小雨でも賑やかな剪定勉強会〕

着任したての一年目には想像もしなかったことです！
いつか私も美味しい八東産りんごを生産できるよ
う、フルーツセンターや、りんご観光園に携わりながら、引き続き勉強していきたいと思います。

地域おこし協力隊
松下 聡子

協力隊担当の現場から

* 八頭町発見伝⑳ *

★麒麟獅子舞

令和元年5月20日、麒麟のまち圏域（八頭町、岩美町、鳥取市、若桜町、智頭町、兵庫県香美町、新温泉町）によるストーリー『日本海の風が生んだ絶景と秘境―幸せを呼ぶ霊獣・麒麟が舞う大地―因幡・但馬』が、日本遺産に認定されました。

これらの地域に伝わる「麒麟獅子舞」は、初代鳥取藩主・池田光仲が、曾祖父・徳川家康の御心霊を祀るために創建した「鳥取東照宮」の祭礼で初めて登場としたと考えられています。

八頭町では、市場・篠波・大坪・延命寺・山路・石田百井・米岡・池田・安井宿・才代などの集落で、春や秋の例祭の際に舞われます。

「麒麟」は、他の生き物を傷つけない泰平の世の象徴とされた霊獣です。昨年からは世界中で新型コロナウイルスが猛威を振るっています。麒麟獅子舞には家内安全や悪疫退散の願いも込められており、今も昔も人々の祈りは同じであることに気付かされます。

（商工観光室 田中）



〔澤神社の麒麟獅子舞〕

○協力隊からのお知らせ

・移住風景は、八頭町役場ホームページからカラーでご覧いただけます。

移住風景 特別版

3年間、地域おこし協力隊として、八頭町の皆さんに大変お世話になりました。道の駅はっとう フルーツ総合センターを拠点として活動させていただき、数えきれない程の貴重な体験や、様々な仕事を経験しました。また、私を受け入れてくださった集落の皆さんには、まるで昔から住んでいたかのように良くしていただき、安心して暮らすことができました。協力隊の任期は終わりますが、これからも八頭町民として八頭に住み、これまでと同じようにフルーツセンターやりんご園で働いていきますので、どうぞよろしくをお願いします！
(松下 聡子)

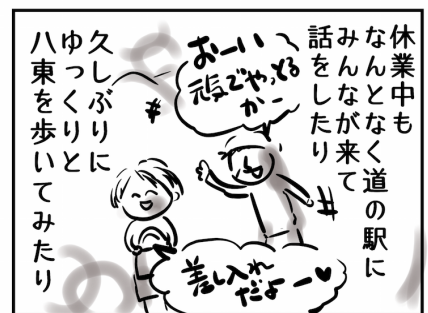
1年目の思い出



2年目の思い出



3年目の思い出



などの実況。

これからもほろほろ頑張ります